

事業期間 H20 ～ H22

基本施策 I D

2. 事業名等

3. 事業の内容等

事業の目的及び対象

4. 予算・決算の状況

5. 実績及び達成目標等

平成17年度

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	「人権啓発情報センター」を活用しての啓発												
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。												
成果指標	①出前隣保館事業延参加者数、②ふれあい教室延参加者数												単位 人
年 度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22		備 考
種 別	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	
目標値					400	700	420	610	440	640	440	650	
実績値	—	500	390	550	429	690							
達成率					107.3%	98.6%							
備 考													

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	生活環境部
	課室名	人権推進同和对策課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	同和地区及び周辺地域の住民交流を通じ、人権・同和問題に対する理解を深めるため重要である。					
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	実施主体は行政であり、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点として、各種相談事業や同和問題をはじめとする人権課題の解決のため各種事業を総合的に行う必要があるため。 (一部事業の実施については、民間との協力は出来ている。)					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	上記のとおり実施主体は行政である。一部の事業については、受益者負担を行っており、お互いの交流が図られているため。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	延べ参加者数は増加傾向にあり、事業効果もあるため。					
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	現行の予算内で事業内容の工夫を図る必要がある。					
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	5	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	現行職員2名、嘱託1名体制で、各種事業を実施している。今後は市内全域で事業を展開して問題解決を図っていく必要があるため人員増が望まれる。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	F	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	人権・同和問題の解決に向け事業を実施してきたが、現状は大野町だけの取り組みとなっている。今後は全市に事業の展開をしなければならないと考えているが、今の職員数では限度がある。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
・大分県隣保館運営補助金（9,099千円/H20）により地域交流促進事業、継続的相談援助事業に取り組んでいるが、この補助金は社会福祉法に基づき、市町村が設置・運営している隣保館であることが補助要件。 ・隣保館の運営実態、隣保館の置かれている問題点、課題等を把握し、今後の隣保館活動の活性化を図るとともに、地域の傾向、課題、住民ニーズ等を把握し、今後の隣保館活動の方向性を創出することが望まれる。						
部 長	課 長	班 長	担当者 内線 4524 E-mail @bungo-ohno.jp			